

●パラナ治安情報(パラナ州治安関係者によるストライキの可能性:報道)

2月9日付当地「ガゼッタ・ド・ポーヴォ」紙は、パラナ州治安関係者のストライキに関するコメントにつき報じていますので、概要以下のとおりお知らせいたします。

1. フルキム軍警察官権利保護協会会長(AMAI:Associacao de Defesa dos Direitos dos Policiais Militares)によると、全て(スト)は、2月13日に実施される州政府側との次回会合次第としている。同会長は、「過激行動(スト)の決定要因は、州政府側の提案内容による」旨述べた。

2. 他方、ボンダルク/パラナ州軍警察総司令官は、ストの可能性を否定する。「(スト)あり得ない。既に両者の対話が行われた。州政府側は交渉に応じる。仮にストが発生しても、軍警察官によるストは法的に許されず、スト開始時点で違法行為となる」旨言及した。同司令官の評価は、脅迫(スト)は圧力に過ぎないとしている。

3. ネット/パラナ州下士官協会会長(APRA:Associacao de Pracas do Parana)は、スト反対を表明している。同会長は、「社会を安堵させたい。ストの可能性はない」旨述べた。